



しんいち

市川のほそだ伸一です。

皆さまこんにちは、ほそだ伸一です。

ほそだ伸一 市政報告

～平成29年2月定例会～

2月定例会の議論のテーマは、翌年度(平成29年4月～平成30年3月)の市政の〈施政方針〉と〈教育行政運営方針〉についてです。私ほそだ伸一は、会派自由民主党の代表質問を行ないましたので、それぞれご報告いたします。

ほそだ伸一による、 会派自由民主党の代表質問

【施政方針】

昨年末に厚生労働省が公表した推計によれば、昨年の全国の年間出生数は98万1千人。ピークだった昭和24年の270万人と比べこの約70年で約3分の1に減少した実態が明らかになりました。この出生数は今後約40年で50万人を割り、100年後には25万人にすら届かなくなるといわれています。こうした減少が現実となれば、国や自治体の施策を実現させるための財源となる税収が減るだけでなく、若い力を必要とする警察、消防、自衛隊などで起こる人材不足が治安や国防に深刻な影響を及ぼし、社会に混乱を招きかねません。

これを市川市という自治体レベルで考えれば、より多くの子育て世代が将来にわたり安心して暮らせる住環境の整備が必要でしょう。そのためには魅力あるまちになってゆかなければなりません。以上のことを踏まえての質問です。

○本市の人口減少について

○まちの魅力向上と快適なまちづくりについて

○本市への愛着と誇りの醸成に向けた具体的な取り組みについて

○地域資源の有効利用に向けた具体的な取り組みについて 等々

【教育行政運営方針】

文部科学省は、毎月一回「親子道徳の日」を設定し、親子が道徳について一緒に考える、家庭と連携した道徳教育の推進を奨励しています。次期学習指導要領では、幼稚園教育において「日本の伝統行事や国家に親しむ」などの活動が新たに盛り込まれ、小学校においては、「和食」が無形文化遺産に登録されたことを受けて「和食の基本となるだしの役割に触れる」ことを強調し、食事のマナーも学ぶ、との基本方針が打ち出されています。一口に道徳といってもその範囲は広く、行儀作法や言葉遣い、立ち居振る舞いなど朝起きてから夜寝るまでがその教科範囲といっても過言ではありません。いよいよ、道徳科を教える教員の人間力を育てることも重要となってくるでしょう。

※裏に続く



ほそだ伸一

市川市議会議員

○常任委員会 健康福祉委員会副委員長

○特別委員会 東京外かく環状道路特別委員会 委員

1965年3月16日 市川市生まれ

つくし幼稚園・平田小学校・第八中学校・明治大学法学部卒

実家は新田4丁目にあった二葉食肉店

ONPO法人日本食育協会 食育指導士

○あさっての市川を考える会代表

○市川食育いいね！倶楽部代表



オフィシャルサイト



フェイスブック